

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 16 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2009～2013

課題番号：21242012

研究課題名(和文) コミュニケーションのための日本語ウェブ教材の作成と試用

研究課題名(英文) Japanese language online materials for communication: preparation and trial

研究代表者

小林 ミナ (KOBAYASHI, Mina)

早稲田大学・日本語教育研究科・教授

研究者番号：70252286

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 28,000,000円、(間接経費) 8,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、次のような独創性を持つ教材(レッスン群)を作成した。(1)「聞く」「話す」「読む」「書く」で独立している。(2)インターネット上で公開され、文法解説や指示が多言語対応になっているので独習が可能である。

研究期間の5年間では、教材作成者がコンテンツを入力したり変更したりするための「管理サイト」、および、日本語学習者が利用する「利用サイト」を開発、試用し、仕様と稼働状況について確認した。それと並行して、日本語レッスン完成版を翻訳し、「中国語簡体字」「中国語繁体字」「韓国語」「英語」の各言語版を作成するとともに、日本語教師が参照するための「日本語」版を作成した。

研究成果の概要(英文)：The authors of this study created the following original online materials (lessons)：(1) Independent 'listening, 'speaking, 'reading, ' and 'writing' portions; (2) online grammar explanations and instructions in multiple languages, enabling learners to learn on their own. Over the course of five years, the authors developed, tested, and put into effect a dual site system, comprised of an 'administrative site' and a 'user site.' The former is used to house and manage content, while the latter, as the name suggests, is geared towards actual learners of Japanese. Concurrently, the authors translated the complete Japanese version of the lessons into Simplified Chinese, Traditional Chinese, Korean, and English. Finally, the authors also created an additional Japanese version to be used as an instructor handbook.

研究分野：言語学

科研費の分科・細目：日本語教育

キーワード：日本語教育文法 ウェブ教材 技能別教材 日本語教材 独習教材

1. 研究開始当初の背景

科研費基盤研究(B)「コミュニケーションのための教育文法に基づく日本語教材作成のための基礎的研究」(平成17年度~20年度, 研究代表者: 小林ミナ)によって、「読む」「書く」「話す」「聞く」の技能ごとに独立した日本語教材を作成してきた。自分に必要な技能だけを、現実的な状況設定に即して学べるようになっており、現実のコミュニケーションにつながる日本語学習が可能である。

作成した教材を、実際に日本語教育の現場で試用してもらったところ、多くの学習者がこのような教材を必要としていること、さらに、手軽に使える形での公開が求められていることがわかった。

現場からのフィードバックに基づいて改良を加えた。そして、身につけさせたいコミュニケーション能力に応じ、4技能あわせて158の学習目的を抽出することができた。

本研究は、このような成果を踏まえて、さらに大量のコンテンツを作成し、インターネット上での公開を目指すものである。

2. 研究の目的

(1) コミュニケーションのための日本語教材を大量に作成する。

(2) その教材をインターネットで使える多言語対応教材として公開する。

3. 研究の方法

研究目的を達成するために、次のような計画・方法で進めた。

【学習目的の抽出】

これまでに作成した158種類の教材のひな型を改良し、ウェブ化に適した形式に確定する。

↓↑

【ウェブシステムの構築】

教材のウェブ化のためのシステムを構築する

↓

【大量コンテンツの蓄積】

ひな型、ウェブシステムにあわせて大量のコンテンツを作成、蓄積する。

↓

【教材の試用と改良】

国内外の関係者の協力を得て、教材を試用してもらい内容や仕様についてフィードバックを得る。それに基づいて教材を改良する。

4. 研究成果

(1) 次のような独創性を持つ教材(レッスン群)を作成した。

- 「聞く」「話す」「読む」「書く」で独立している。
- インターネット上で公開され、文法解説や指示が多言語対応になっているので独習が可能である。

(2) 研究期間の5年間では、教材作成者がコンテンツを入力したり変更したりするための「管理サイト」、および、日本語学習者が利用する「利用サイト」を開発、試用し、仕様と稼働状況について確認した。

(3) 日本語レッスン完成版を翻訳し、「中国語簡体字」「中国語繁体字」「韓国語」「英語」の各言語版を作成するとともに、日本語教師が参照するための「日本語」版を作成した。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文] (計11件)

1. 小林ミナ(2014), 日本語教育文法の研究動向, 日本語学, 32-7, 4-17
2. 野田尚史(2014), 「オーダーメイドの文法」をめざして, 日本語学, 32-7, 62-71
3. 宮永愛子, 松田真希子(2014), 聞き手配慮要素からみた超級日本語話者の発話の特徴, 日本語/日本語教育研究 5, 1-17, 査読有
4. 野田尚史(2011), コミュニケーションのための日本語学習用辞書の構想, 日本語/日本語教育研究 2, 5-22
5. 小林ミナ(2011), 日本語は誰のものか-「私の日本語」を支える言語能力, 早稲田日本語教育学 9, 15-20, 査読有
6. 野田尚史(2009), 言語の教育からコミュニケーションの教育へ-非母語話者に対する日本語教育を例にして-, 社会言語科学 12-1, 67-79, 査読有
7. 松崎寛(2009), 音声教育における教師と学習者の内省-韻律指導の実践をもとに-, 日本語教育 142, 25-46, 査読有
8. 名嶋義直(2009), 会話分析授業において受講生はどう学んだか-母語話者会話と学習者会話との対照を通して-, 2009年上海外国語大学日本学国際論壇記念論文集, 463-467, 査読有
9. 小林ミナ(2009), 教室活動とリアリティー, 日本語教育の過去・現在・未来 第4巻 教室, 94-118
10. 松崎寛(2009), 音声教育における実践研究の方法論, 日本語教育の過去・現在・未来 第4巻 音声, 98-117
11. 向井裕樹, オゼルハン智代(2011), 日本語で「書く(打つ)」ことに関して JFL 学習者はどんなピループを抱いているか-イスタンブールとブラジリアの大学生の事例-, 第10回トルコ日本語教師大会大会報告書, 58-70, 査読有

[学会発表] (計50件)

1. 野田尚史, 穴井宰子, 桑原陽子, 白石実, 中島晶子, 村田裕美子, ヨーロッパの上級日本語学習者によるウェブサイトのクチコミの解釈-文化の相違による解釈の違い-, 15th EAJIS International Conference (第15回ヨーロッパ日本研究協会国際会議), リュブリャナ大学(ス

- ロベニア), 2014/8/27-30 (採択決定)
2. 小林ミナ, 藤井清美, 柳田直美, 会話教材における発音表示, 2014年日本語教育国際研究大会 (SYDNEY-ICJLE2014), シドニー工科大学 (オーストラリア), 2014/7/12 (採択決定)
 3. Yuki, MUKAI, 「書く」に関する日本語初級学習者のビリーフ・ブラジルとポルトガルの大学生の事例一, 2014年日本語教育国際研究大会 (SYDNEY-ICJLE2014), シドニー工科大学 (オーストラリア), 2014/7/12 (採択決定)
 4. 野田尚史, 島津浩美, 阪上彩子, 日本語学習者の飲食店での聞きとり困難点—文化背景を盛り込んだ聴解教材作成のために—, 2014年日本語教育国際研究大会 (SYDNEY-ICJLE2014), シドニー工科大学 (オーストラリア), 2014/7/11 (採択決定)
 5. 野田尚史, 読んで理解する過程の解明—読解コーパスの開発—, 第8回日本語実用言語学国際会議 (ICPLJ8) パネルセッション「コーパスと日本語教育研究」, 国立国語研究所 (東京), 2014/3/23, 招待
 6. 松田真希子, アニメ・ドラマを用いた日本語音声指導の可能性: 日本における実践—金沢大学における音声コミュニケーション指導—, 第4回外国語発音習得研究会, 名古屋大学 (愛知), 2014/3/21, 招待
 7. 野田尚史, コミュニケーションのための日本語教育文法, 第20回ヤマガタヤポニカ日本語教師研修講座, 山形市男女共同参画センター (山形), 2014/3/8, 招待
 8. 野田尚史, コミュニケーションのための日本語教育, 第5回スペイン日本語教師会総会・研修会, 国際交流基金マドリッド日本文化センター (スペイン), 2014/2/8, 招待
 9. 野田尚史, コミュニケーションのための文法の再検討, 第5回スペイン日本語教師会総会・研修会, 国際交流基金マドリッド日本文化センター (スペイン), 2014/2/8, 招待
 10. Minoru Shiraishi, Hisashi Noda, Yoko Kuwabara, Estudiantes de japonés de nivel avanzado y webs sobre restaurantes de Japón (上級日本語学習者と日本のレストランのウェブサイト), 4.º FORO ESPAÑOL DE INVESTIGACIÓN EN ASIA-PACÍFICO (FEIAP 2014) (第4回アジア太平洋研究スペインフォーラム), グラナダ大学 (スペイン), 2014/2/7
 11. 野田尚史, コミュニケーションのための言語と教育の研究: 日本語学習者の読解過程の解明に向けて, 国立国語研究所研究成果発表会 2014, 学術総合センター (東京), 2014/2/2, 招待
 12. 宮永愛子, 松田真希子, 超級日本語話者の発話の特徴—聞き手配慮要素に注目して—, 2013年度日本語教育学会秋季大会, 関西外国語大学 (京都), 2013/10/13
 13. 野田尚史, 日本語教育における文法のあるべき姿, 関西言語学会 第38回大会シンポジウム「外国語教育における文法のあるべき姿」, 同志社大学 (京都), 2013/6/8, 招待
 14. 野田尚史, コミュニケーションのための日本語教育とは?, 国際交流基金関西国際センター設立15周年記念講演会「コミュニケーションのための日本語教育と関西国際センターの実践」, 国際交流基金関西国際センター (大阪), 2013/3/30, 招待
 15. 野田尚史, コミュニケーションのための日本語教育文法, 池袋コミュニティ・カレッジ日本語教育専門家コース, 池袋コミュニティ・カレッジ (東京), 2013/3/9, 招待
 16. 野田尚史, 実践的な日本語読解教材の作成—グルメサイトのクチコミを例にして—, フランス日本語教師会特別勉強会 (Cercle de Linguistique Japonaise 共催), パリディドロ第7大学 (フランス), 2013/2/2, 招待
 17. 野田尚史, コミュニケーションのための日本語教育研究, シンポジウム「コミュニケーションのための日本語教育研究」 (国立国語研究所日本語教育研究・情報センター主催), 星陵会館 (東京), 2012/11/17, 招待
 18. 野田尚史, 実践的な日本語読解—インターネットのクチコミを例にして—, 江蘇大学外国語学院日語学科学術講演会, 江蘇大学 (中国), 2012/11/5, 招待
 19. 野田尚史, 日本語教育のための日本語研究, 中国日語教学研究会江蘇分会大会, 江蘇大学 (中国), 2012/11/3, 招待
 20. 小林ミナ, 「使用実態」から文法シラバスを見直そう, 第11回トルコ日本語教師会ワークショップ「状況」から始まる教室活動を考えよう, ヤシアル大学 (トルコ), 2012/9/3-4, 招待
 21. 野田尚史, 桑原陽子, 播磨涼子, グルメサイトのクチコミに使われる文章・表現の分析, パネルセッション「文章表現の分析と学習者の読解困難点調査に基づく読解教材の作成—グルメサイトのクチコミを読む教材を例にして—」, 日本語教育国際研究大会 名古屋 2012, 名古屋大学 (愛知), 2012/8/19
 22. 小林ミナ, 日本語教育のための日韓対照研究, 韓国日本言語文化学会シンポジウム, 韓国外語大学サイバー大学 (韓国), 2012/5/12, 招待
 23. 藤井明子, 花田敦子, 藤原未雪, 野田尚史, 上級日本語学習者の読み誤り—学習者は学術論文をどこで読み誤るか—, 日

- 本語教育学会 2012 年度春季大会, 拓殖大学 (東京), 2012/5/27
24. 野田尚史, コミュニケーション重視の日本語教育とは-文型ではなく状況からのアプローチ-, 朝日カルチャーセンター朝日 JTB・交流文化塾新宿教室日本語教育公開講座, 朝日カルチャーセンター (東京), 2011/9/10, 招待
 25. 中川美保, 野田尚史, 北浦百代, 引用部分とその前後の関係を読みとるための読解教材の作成と試用, 2011 世界日本語教育研究大会, 天津外国語大学(中国), 2011/8/21
 26. 野田尚史, コミュニケーション能力を高めるための日本語教育, カナダ日本語教育振興会 (CAJLE) 2011 年次大会, レジャイナ大学 (カナダ), 2011/8/5, 招待
 27. 野田尚史, 文法より大事なものがたくさんある-コミュニケーションのための日本語教育を目指して-, 第 28 回 JLTN 講演会, 国際健康開発センター (兵庫), 2011/7/23, 招待
 28. 野田尚史, 相手に伝わる日本語を書くために, アカデミック・ライティング文章力を磨く講演会, 関西大学 (大阪), 2011/7/23, 招待
 29. 野田尚史, 相手に伝わる日本語を書くために, 群馬県立女子大学県民公開授業「日本のことばと文化 2, 群馬県立女子大学 (群馬), 2011/4/23, 招待
 30. 野田尚史, 「文型」ではなく「状況」から出発する日本語教育, 北海道大学留学生センター日本語教育ワークショップ, 北海道大学 (北海道), 2011/1/29, 招待
 31. 野田尚史, 日本語教育のための日本語教育研究とは?-言語の研究からコミュニケーションの研究への転換-, 共同研究プロジェクト「多文化共生社会における日本語教育研究」公開シンポジウム, 国立国語研究所 (東京), 2011/1/23, 招待
 32. 野川尚史, 言語の研究からコミュニケーションの研究へ-日本語研究の新しい方向性-, 韓国日語日文學會 2010 年度冬季学術大会, ソウル (韓国), 2010/12/18, 招待
 33. 野田尚史, コミュニケーションのための日本語教材を目指して, 日本語教育学会 2010 年度第 9 回研究集会, 宮城 (宮城教育大学), 2010/11/13, 招待
 34. 名嶋義直, 実践的な「話す」能力を養う日本語教育, 日本語教師のためのブラッシュアップコース「実践的な能力を養う日本語教育」, 津田ホール (東京), 2010/11/12, 招待
 35. 野田尚史, 言語の教育からコミュニケーションの教育へ, 日本語教育講演会, 東北大学 (宮城), 2010/11/12, 招待
 36. 小林ミナ, コミュニケーションから文法を見る, えひめ JASL 研修会, 愛媛 (愛媛大学), 2010/10/16, 招待
 37. 小林ミナ, 実践的な「書く」能力を養う日本語教育, 日本語教師のためのブラッシュアップコース「実践的な能力を養う日本語教育」, 津田ホール (東京), 2010/10/15, 招待
 38. 桑原陽子, 野田尚史, 内藤満地子, 今井多衣子, 北浦百代, コミュニケーション指向の初級読解教材作成のためのニーズ調査とその分析, 2010 世界日本語教育大会, 台湾 (国立政治大学), 2010/8/1
 39. 副田恵理子, 佐々木良造, 舩橋瑞貴, 小林ミナ, コミュニケーションのための「書く」教材, 2010 世界日本語教育大会, 台湾 (国立政治大学), 2010/7/31
 40. 松崎寛, 実践的な「聞く」能力を養う日本語教育, 日本語教師のためのブラッシュアップコース「実践的な能力を養う日本語教育」, 津田ホール (東京), 2010/7/16, 招待
 41. 野田尚史, 実践的な「読む」能力を養う日本語教育, 日本語教師のためのブラッシュアップコース「実践的な能力を養う日本語教育」, 津田ホール (東京), 2010/6/11, 招待
 42. 野田尚史, コミュニケーションのための日本語教育文法-文法教育を見直す-, 建国日本文化言語学会第 6 回学術発表大会及び国際シンポジウム, 韓国 (建国大学校), 2009/11/14, 招待
 43. 野田尚史, コミュニケーションのための日本語教材の作成方法, 日本語教育学会 2009 年度第 7 回研究集会, 日本学生支援機構 (大阪), 2009/9/26, 招待
 44. 野田尚史, 文法中心の日本語教育からコミュニケーションのための日本語教育へ” 第 8 回トルコ日本語教師会大会, 土日基金文化センター (トルコ), 2009/8/27, 招待
 45. 野田尚史, 日本語研究と日本語教育の新しい関係を目指して, 2009 年度豪州日本研究大会・日本語教育国際研究大会, ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア), 2009/7/16, 招待
 46. 奥野由紀子, 接触場面における聴解能力の開発: 「聴くプロフィシェンシー」を高める教材とは, 2009 年度豪州日本研究大会・日本語教育国際研究大会パネルセッション: 「接触場面」における日本語能力の開発, ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア), 2009/7/15
 47. 名嶋義直, 会話分析授業において受講生はどう学んだか-母語話者会話と学習者会話との対照を通して-, 2009 年上海日本学研究国際フォーラム, 上海外国語大学 (中国), 2009/6/13
 48. 小林ミナ, 文法教育研究は「楽しい研究」か, 2009 年度日本語教育学会春季大会 (パネルセッション: 日本語教育研究は「楽しい研究」か), 明海大学 (千葉), 2009/5/23

49. 松崎寛, 相互行為としての「話す力」の養成を目指して, 2009年度日本語教育学会春季大会パネルセッション「会話教育」の方法と展開一, 明海大学(千葉), 2009/5/23
50. 奥野由紀子, 学習者はどのように聞いているのか—ママ友会話の事例から—, 関西 OPI 研究会 10 周年記念合宿パネル, 熱海南明ホテル(静岡), 2009/3/21, 招待

[図書] (計2件)

松崎寛, 河野俊之(2009), 日本語教育能力検定試験に合格するための音声 23, アルク, 総頁 225

小林ミナ(2010), 日本語教育能力検定試験に合格するための教授法 37, アルク, 総頁 211

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

<2009 年度>

(1) 研究代表者

小林ミナ (KOBAYASHI, Mina)
早稲田大学・日本語教育研究科・教授
研究者番号: 70252286

(2) 研究分担者

副田恵理子 (SOEDA, Eriko)
藤女子大学・文学部・講師
研究者番号: 90433416
名嶋義直 (NAJIMA, Yoshinao)
東北大学・文学研究科・准教授
研究者番号: 60359552
野田尚史 (NODA, Hisashi)
大阪府立大学・人間社会学部・教授
研究者番号: 20144545
松崎寛 (MATSUZAKI, Hiroshi)
広島大学・教育学研究科(研究院)・准教授
研究者番号: 10250648

(3) 連携研究者

奥野由紀子 (OKUNO, Yukiko)
横浜国立大学・留学生センター・准教授
研究者番号: 80361880
丹羽順子 (NIWA, Junko)
佐賀大学・国際交流推進センター・准教授
研究者番号: 70286291
松岡洋子 (MATSUOKA, Yoko)
岩手大学・国際交流センター・准教授
研究者番号: 60344628

<2010 年度>

(1) 研究代表者

小林ミナ (KOBAYASHI, Mina)
早稲田大学・日本語教育研究科・教授
研究者番号: 70252286

(2) 研究分担者

副田恵理子 (SOEDA, Eriko)
藤女子大学・文学部・講師
研究者番号: 90433416
名嶋義直 (NAJIMA, Yoshinao)
東北大学・文学研究科・准教授
研究者番号: 60359552
野田尚史 (NODA, Hisashi)
大阪府立大学・人間社会学部・教授
研究者番号: 20144545
松崎寛 (MATSUZAKI, Hiroshi)
広島大学・教育学研究科(研究院)・准教授
研究者番号: 10250648

(3) 連携研究者

奥野由紀子 (OKUNO, Yukiko)
横浜国立大学・留学生センター・准教授
研究者番号: 80361880
桑原陽子 (KUWABARA, Yoko)
福井大学・国際交流センター・准教授
研究者番号: 30397286
丹羽順子 (NIWA, Junko)
佐賀大学・国際交流推進センター・准教授
研究者番号: 70286291

<2011 年度>

(1) 研究代表者

小林ミナ (KOBAYASHI, Mina)
早稲田大学・日本語教育研究科・教授
研究者番号: 70252286

(2) 研究分担者

副田恵理子 (SOEDA, Eriko)
藤女子大学・文学部・講師
研究者番号: 90433416
名嶋義直 (NAJIMA, Yoshinao)
東北大学・文学研究科・准教授
研究者番号: 60359552
野田尚史 (NODA, Hisashi)
大阪府立大学・人間社会学部・教授
研究者番号: 20144545
松崎寛 (MATSUZAKI, Hiroshi)
筑波大学・人文科学研究科・准教授
研究者番号: 10250648

(3) 連携研究者

奥野由紀子 (OKUNO, Yukiko)
横浜国立大学・留学生センター・准教授
研究者番号: 80361880
桑原陽子 (KUWABARA, Yoko)
福井大学・国際交流センター・准教授
研究者番号: 30397286
丹羽順子 (NIWA, Junko)
佐賀大学・国際交流推進センター・准教授
研究者番号: 70286291

<2012 年度>

(1) 研究代表者

小林ミナ (KOBAYASHI, Mina)
早稲田大学・日本語教育研究科・教授
研究者番号：70252286

(2) 研究分担者

桑原陽子 (KUWABARA, Yoko)
福井大学・国際交流センター・准教授
研究者番号：30397286
佐々木良造 (SASAKI, RYOZO)
関西学院大学・付置研究所・講師
研究者番号：50609956
副田恵理子 (SOEDA, Eriko)
藤女子大学・文学部・講師
研究者番号：90433416
名嶋義直 (NAJIMA, Yoshinao)
東北大学・文学研究科・准教授
研究者番号：60359552
野田尚史 (NODA, Hisashi)
大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立国語研究所・大学共同利用機関等
の部局等・教授
研究者番号：20144545

(3) 連携研究者

丹羽順子 (NIWA, Junko)
佐賀大学・国際交流推進センター・准教授
研究者番号：70286291

<2013 年度>

(1) 研究代表者

小林ミナ (KOBAYASHI, Mina)
早稲田大学・日本語教育研究科・教授
研究者番号：70252286

(2) 研究分担者

桑原陽子 (KUWABARA, Yoko)
福井大学・国際交流センター・准教授
研究者番号：30397286
佐々木良造 (SASAKI, RYOZO)
関西学院大学・付置研究所・講師
研究者番号：50609956
副田恵理子 (SOEDA, Eriko)
藤女子大学・文学部・講師
研究者番号：90433416
野田尚史 (NODA, Hisashi)
大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立国語研究所・大学共同利用機関等
の部局等・教授
研究者番号：20144545
三輪譲二 (MIWA, Joji)
岩手大学・工学部・准教授
研究者番号：60125664

(3) 連携研究者

丹羽順子 (NIWA, Junko)
佐賀大学・国際交流推進センター・准教授
研究者番号：70286291